

令和2年度第1回美しい宮崎づくり推進有識者会議 議事要旨

1 日時

令和2年7月14日（金）午前9時30分～午前10時25分

2 場所

県庁附属棟3階301号室

3 出席委員（10名）

議長 関西 剛康、委員 鶴田 安彦、委員 三穂 貴秀
委員 中嶋 敬介、委員 海老原 邦子、委員 谷越 衣久子
委員 日高 茂信、委員 福永 栄子、委員 古原 正人
委員 後藤 章二
委員 根岸 裕孝（欠席）、委員 永井 佐代子（欠席）
委員 中島 雅隆（欠席）

4 議事等

【議事】

○美しい宮崎づくり推進計画フォローアップについて

【その他】

（1）連絡事項

5 委員からの主な意見等

【議事】

○美しい宮崎づくり推進計画フォローアップについて

【事務局】

美しい宮崎づくり推進計画に基づく施策の令和元年度の取組及び評価・検証内容を説明。

【委員】

- ・ 景観まちづくりアドバイザー制度について、公共事業で活用するといいいのではないか。いろいろな機関に情報提供をしているのか。

【委員】

- ・ 綾町で地域の人たちによる花のまちづくりが行われており、農泊で来られた方たちに説明したところ、初めて聞いたと言っていた。いろんな家の花壇に花が植えられており、訪れた方たちへ観光案内ではない形で説明している。
- ・ また、馬事公苑の花壇では、ランキョウやビオラなど、県内の育種家が育てている花の球根を投げ入れて、花壇をつくったと聞いている。もっとPRしていくことが大事。
- ・ 視点場の整備の説明があったが、御池が国道からきれいに見えるようになっている。高千穂峰を背景にし、御池の魅力を様々な人に知ってもらえる。御池には貸しボートがあり、ボートで遊びたいと思ってもらえるのではないか。1つの成果だと思う。

[委員]

- ・ 美しい宮崎づくりについて、少しずつ成果が出ていると感じている。
- ・ これからもっとよくしていくためには、新しいものを創り出すだけでなく、汚いところをきれいにしていくことも大事。県内外の人が、車で走っていて楽しいと思ってもらえるようになると良い。
- ・ 地域づくりネットワーク協議会には、様々な団体が加入している。各地域の団体に関連する情報をつなげて欲しい。

[議長]

- ・ 様々な地域にたくさん組織がある。そういったところと連携していくことが大事。

[委員]

- ・ 美しい宮崎づくりは部局を横断する取組なので、期待している。
- ・ 県、市町村、県民、事業者が取り組んで行く中で、花いっぱいプロジェクトのように企業の活動をもっと取り上げて欲しい。景観形成促進機構と連携しているように、企業（事業者）に取り組んでもらうことが重要。収益につながるインセンティブをどうとっていくかを考えて欲しい。
- ・ アドバイザーの派遣など技術的な人の支援は進んでいるが、実際に担っている人たちの支援が必要。後継者不足がどこも問題になっている。長期的なビジョンを持って世代を超えた取組をやっていくことが、美しい宮崎づくりの最終的な目標だと思っている。

[委員]

- ・ 美しい宮崎づくりに関する取組を評価する制度ができ、掃除や植栽をするだけでなく、子どもたちを巻き込んだ活動など、視野の広い取組が行われており、活動する人たちの意識も変わってきたのではないかと思う。
- ・ 御池に関して、うっそうとして下に降りて行きたいとは思えないような感じだったが、きれいに見えるようになったと聞いて、足を運んでみたいと思った。条例ができて、良い風景を見たいと思う人が増えているのではないかと思う。

[委員]

- ・ 鉄道事業者もまちづくりの観点を持って取り組んでいる。観光列車が走ることによって、歓迎をしていただくとともに沿線をきれいにさせていただいている。また九州内を走る新たな観光列車ができるが、県境でどこの県に入ったかが分かるようにするとか、駅構内をきれいにする取組を検討している。
- ・ 鉄道沿線も木がうっそうとしており、災害等の対応で手いっばいの部分もあるが、引き続き沿線の景観づくりにも取り組んでいきたい。
- ・ 横断的に予算が見える化しているところは、他にない。
- ・ 実際の担い手は、地域の皆様、企業などであり、そういった人たちが取り組むことがまちづくりだと思っている。

[委員]

- ・ 事務局の説明を受け、県民や関係機関、関係団体が一体となって、素晴らしい取組が行われていると感じた。宮崎県全体が美しくなるということは、観光資源の磨き上げにもつながり、自信を持って観光客を招き入れることができると考えている。

- ・ 連携も重要だが、情報発信も大きな柱になる。メッセージ性のある景観づくりは、コロナウイルスによる影響が続く中で、素晴らしい取組で非常に良い発信ができていないかと思っている。
- ・ 美しい宮崎づくりが浸透してきたと思っているが、1人ひとりが美しい宮崎づくりに参画していると認識してもらえらるような取組を引き続き行って欲しい。
- ・ Facebook ページのいいねの目標値を設定しているが、ぜひ目標達成できるように頑張ってもらいたい。

[委員]

- ・ クラブツーリズムが宮崎花旅365のツアーを造成したのは、かなり大きなことだと思っており、美しい宮崎づくりの評価が高まっていることの表れではないかと思っている。
- ・ メッセージ発信ももちろん大事だが、継続をいかにしていくかが重要。難しい課題だが、企業としても引き続き考えていきたい。
- ・ コロナ禍ではあるが、いかに誘客を図っていくかという点で、宮崎花旅365や美しい宮崎づくりは観光客にヒットすると捉えている。

[委員]

- ・ 宮崎市では、景観条例、屋外広告物条例、緑のまちづくり条例に基づく取組を行っている中で、ガーデンツーリズム制度に宮崎花旅365が登録された。コロナウイルスの影響で、積極的な取組ができないが、経済も回していかなければならないと考えている。
- ・ 11の庭園で構成されているが、もっと磨き上げをしていく必要があると思っている。また、ツーリズムなので、おもてなしとして、神話や食、スポーツなどつなげていくことも重要だと考えている。

[委員]

- ・ 委員同士の意見交換も重要。各分野の専門家であるので、意見を融合することもできる。できれば、年に何回か会議を開くことを検討して欲しい。